

自治体SDGsモデル事業

熊本地震の経験と教訓をいかした  
地域(防災)力の向上事業

2019年5月8日



熊本市

# 1 熊本地震の教訓



熊本地震

平成28年4月14日、16日

再認識した  
地域力の重要性  
ライフライン強靱化の必要性





西予市への職員派遣



2018日韓共同セミナーでの講演



地域力×防災・減災のまちづくり×SDGs  
安心安全な「上質な生活都市」へ

## 2 熊本市自治体SDGsモデル事業の概要



### 熊本地震の経験と教訓をいかした 地域(防災)力の向上事業



#### 新しい熊本の成長をけん引する地域経済の活性化

経済

日本一の園芸産地づくりの推進  
EVバスをはじめとする新産業の創出支援 など



#### 災害時に力を発揮する地域コミュニティの活性化

社会

健康を軸とした自主自立のまちづくり  
災害時要援護者対策と地域包括ケアの構築  
学校での防災教育、ESDの推進 など



### 地域(防災)力の向上



#### 自然環境をいかした防災・減災対策の強化

環境

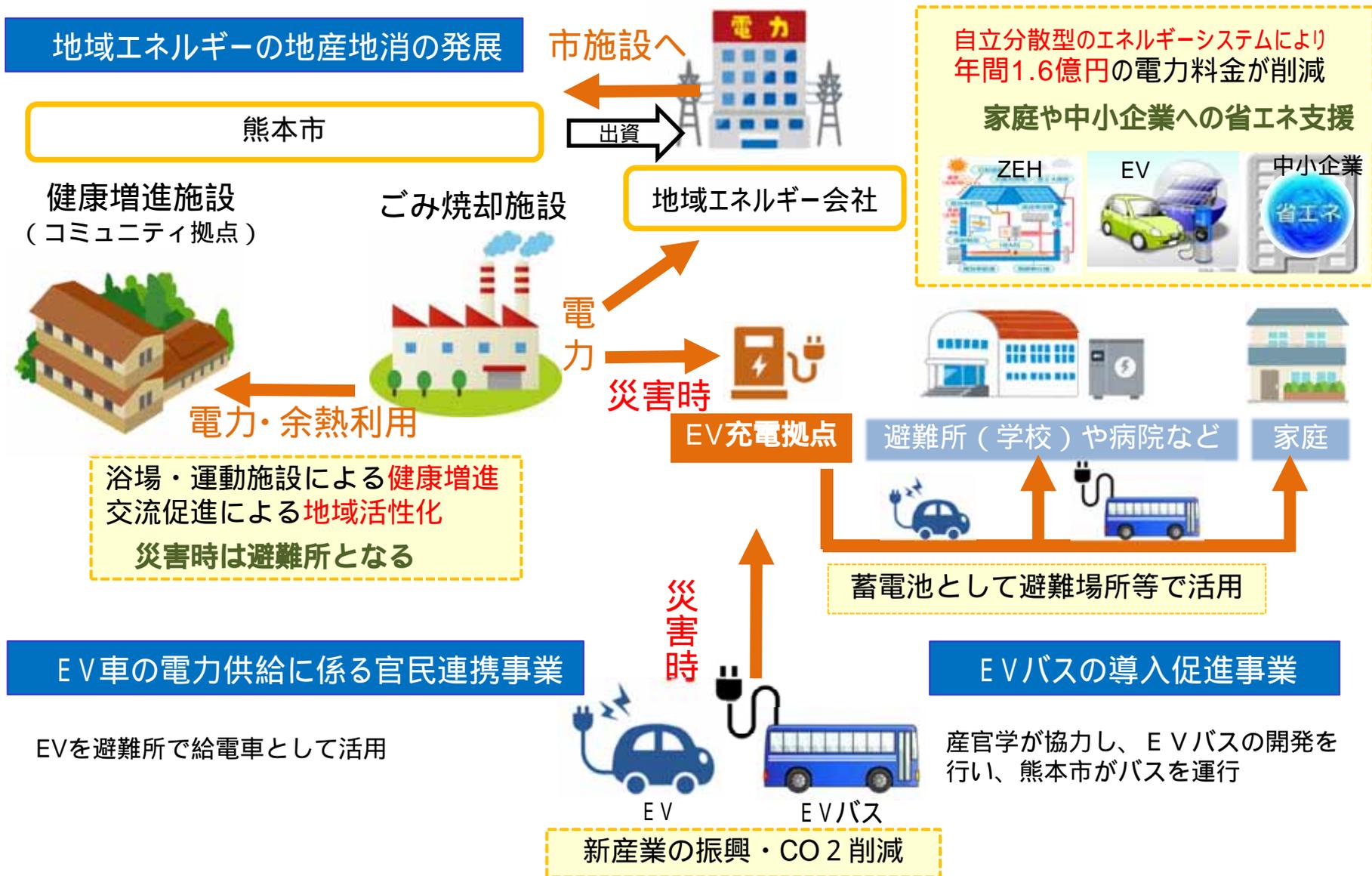
地下水の質・量の保全と地域循環  
マンホールトイレの設置等による避難所環境の向上  
官民連携による防災井戸や電力の確保 など



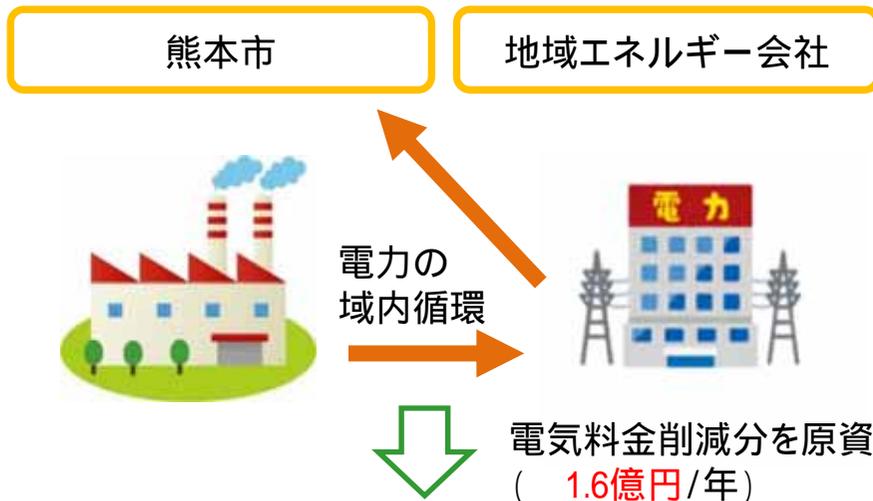
# 3 統合的取組(補助対象事業)



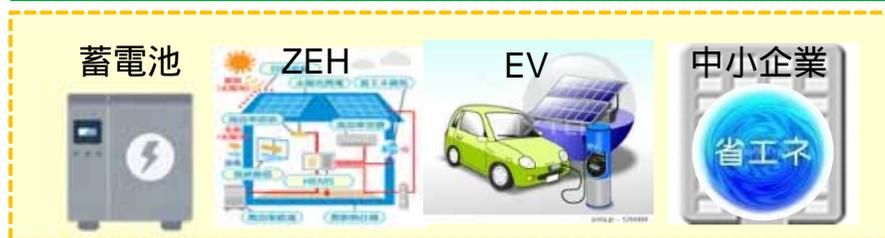
## ライフライン強靱化プロジェクト



## 地域エネルギーの地産地消の発展



### 「熊本市省エネルギー等推進基金」



### 大規模災害時

充電拠点からEV、EVバスを避難所等へ



## EVの電力供給に係る官民連携事業

災害時に販売店及び事業者が所有する電気自動車を避難所で給電車として活用



日産販売店との協議内容

- (1) 災害時のEVの市への貸与
- (2) 急速充電スタンドの市優先利用
- (3) EVの普及に関する広報活動への協力

## EVバスの導入促進事業

熊本大学開発のEVバスに改造し、熊本市が熊本城周遊バスとして運行



# 4 相乗効果

## ライフライン強靱化プロジェクト

地域エネルギーの  
地産地消の発展

EVの電力供給に係る  
官民連携事業

EVバスの導入促進事業

社会

余熱施設等を活用した  
地域コミュニティの活性化

環境

防災分野での官民連携による  
防災井戸やマンホールトイレの設置等

経済

新産業の創出や  
技術革新の促進

相乗効果

相乗効果

相乗効果

経済

人材の流出抑制

環境

環境保全活動  
の促進

社会

避難所の  
生活環境の改善

経済

業務継続性の向上  
企業立地の促進

社会

地域住民の  
健康増進

環境

温室効果ガスの  
排出削減



地域(防災)力の向上

# 5 自律的好循環



ごみ焼却施設（DBO方式）



民間活力



地域エネルギー事業

地場企業振興

- ・ 地域防災力の向上
- ・ 環境保全と経済の好循環

産官学民連携

“熊本発”  
EVバスの導入



市

省エネルギー機器等導入補助金



電力の最適化による  
資金の確保



# 6 SDGsの推進に向けて



## 市職員から率先垂範



## 中学校でのESD



熊本市立北部中学校 (ESD研究指定校)

## 地元金融機関との連携



サステナビリティ全体構想

出所: 肥後銀行ホームページ

## 連携中枢都市圏での取組

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画(地域エネルギービジョン)を策定。



## アジア・太平洋水サミットでの取組

2020年10月開催予定の第4回サミットにて、水保全や防災・減災の知見を広く発信。

